(Figure 2)

カリフォルニアMA米の輸出検査の流れ

検査場所	輸出検査	OMIC検査
ドライヤー/倉庫 乾燥・保管 ↓ 精米所への籾搬入	保管籾より積地安全性検査用サンプル(PSS)を採取。	積地安全性検査用に日本の指定ラボに空輸(222項目)。 付保用検査(306項目)及び真菌分析用にOMIC USA Inc.に送付。
精米所 ↓ 籾摺り・精米	品質検査用のサンプリング、重量検査等	品質/重量/包装の確認
荷姿：Sling Bag(30kg×42袋) Flexible Container(1000kg)	当該ロットの均一性保持のためのロット番号、シフト名、袋詰月日をSling Bag/Fle-conに記入。	IP No.の確認
トラックによる貨物の港への搬入 ↓ 港頭倉庫 ロット別による併付け	併付けの確認	貨物搬入時に貨物の状況を確認。 併付け、IP No.の確認。
↓ 本船 フォークリフト及び本船クレーンによる荷役	本船船倉検査及び荷役立会い	本船船倉検査及び荷役立会い
↓ 本船出航	サンプリングをした等級格付用のサブロットサンプルを船積数量により重量按分・合成し、船積代表サンプル(SCS)を作成する。	着地安全性検査用に日本の指定ラボに空輸(306項目)。 SCSをFD輸入規格により等級格付。